

08. 管理職

熊本市立城山小学校

校長 松本 至道

(平成9年度採用)



「教師」の魅力

国づくりは人づくりと言われます。子どもたちが幸せで充実した人生を送り、我が国の一層の発展を実現していく原動力となるものは教育に他ならないと思います。教育は学校のみならず、家庭や地域社会と一体となって行わなければなりません。学校教育の果たす役割は極めて大きいと言えます。

教師は責任が重い大変な仕事ですが、日々子どもたちの成長と深くかかわることができ、それだけにやりがいのある職業と言えます。子どもたちは自分が大切にされていることを感じ取って初めて一步を踏み出せます。そのために子どもたちの前に立つものとして、常に自身の人権感覚を磨き、幅広い教養と専門的な知識を身につけなければなりません。

子どもたちや保護者、地域の人々に信頼される教師をぜひめざしてください。



私の失敗談(失敗から学んだこと)

初任校では授業、生徒指導、学級経営などうまくできずに悩み、先輩の先生方から日々叱られてばかりでした。その中で学んだことは、教師としてのプライドをもち日々自己研鑽を積むこと、目の前にいる子どもたちに精一杯関わること、自身の人権感覚を磨くこと、保護者や先生方と連携を取るなど多岐に渡っています。

私の働き方改革 work life valance

熊本市は現在「働き方改革」に力を注ぎ、学校改革が進んできていると感じています。正規の勤務時間外の在校時間を減らすことは大切な取組ですが、目的は限られた時間の中でゆとりをもって子どもと向き合う時間や自己研鑽の時間を確保するために教職員の意識改革を行うことです。教職員が疲弊しては質の高い教育はできません。教職員が自らの心身の健康を保つことが大前提だと思っています。

仕事は楽しく、遊びは一生懸命に。リフレッシュできる時間もつくるよう心がけています。

熊本市立学校教員を志願する方へのメッセージ

人生百年時代を迎え、人工知能(AI)などの技術革新による「超スマート社会」の到来を展望しています。これからの時代を生き抜くためには、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する力が必要です。

皆さん、私たちとともに、これからの持続可能な社会をたくましく生き抜く子どもたちを育てていきましょう。

子どもたちも私たちもバイタリティに溢れた皆さんを待っています。

すべては子どもたちの未来のために。一緒に頑張りましょう。

※この掲載内容は、令和4年1月時点の内容です。

